



SafetyAnswer

セイフティ・アンサー

新しい発想でメールアドレスを守る!

顧客からの問合せ、業務の外部委託、匿名相談など
 様々な利用シーンでメールアドレスを漏えい事故から守る

…メールアドレスの匿名化で実現!

Outsourcing Protection 外部委託メールアドレス匿名化

メール処理を外部委託している企業向けのサービス

外部委託先と個人情報保護に関する契約を結んでいるものの、本当に顧客のメールアドレスは漏れる心配はありませんか? SafetyAnswer が提供するアドレスを匿名化して転送する機能を利用することで、安全にメール処理を外部委託することができ、顧客のメールアドレスの漏えい防止対策に効果を発揮します。また、外部委託先から勝手に顧客へメールを送られないように、返信規制をすることが可能です。



Inquiry Protection 匿名メール相談

匿名相談(学校、労務、健康相談など)のサービス

通常、インターネットを介して匿名でのやり取りをする場合は、ホームページなどの制作が必要になります。SafetyAnswer を使えば、公開するメールアドレス一つを取得するだけで、メールを送る側も、メールを受ける側も双方が自分のアドレスを教えることなく連絡を取り合うことができます。



Mobile Protection モバイルアドレス帳保護

モバイル端末で会社のメールを利用している企業や個人向けのサービス

個人が所有するモバイル端末を会社で利用するケースが多くなっています。もしも端末を紛失したり、盗難にあったら、顧客のメールアドレスが盗み取られてしまう恐れがあります。SafetyAnswer を利用して、個人のモバイル端末へメールを転送する際にアドレスの非通知設定をしておけば、もしも端末を紛失しても、メールアドレスが漏えいすることはありません。



その他 SafetyAnswer の活用は多分野に及びます

- 情報漏えい対策として、顧客のメールアドレスを収集したくない企業向けのサービス
 ネットショップや求人など「わが社はお客様のメールアドレスを収集しません」と掲げて窓口を運用することができます。
- 大きな企業、行政機関など、ファイアーウォールで守られたネットワークで社内組織を運営している企業向けのシステム
 社内と社外をメールアドレスで完全に分離することで、大切な顧客メールアドレスの社内からの漏えいを防止し、また、標的型攻撃のターゲットになることを回避する効果が期待できます。
- 町会・自治会、ボランティア、NPO 団体、PTA などで、連絡網を運用している団体向けのサービス
 中心になる人もその他の人も全員が、自分のアドレスを伏せて匿名でメール連絡を取り合うことが可能になります。

SafetyAnswerの優れた機能で個人情報情報を完全にブロック!

SafetyAnswerで何が出来る?

故意、事故に関わらず、メールアドレスの漏えいを防止

届くメールアドレスを全て匿名化することで、メールアドレスの漏えいを防ぎます。

自分に届いたメールの送信者アドレスが盗まれても心配ない

匿名化された送信者のメールアドレスへは、受信した本人以外からは送信できません。

本当のメールアドレスを知らなくとも、業務に支障はない

同じ送信者から届くメールアドレスは、いつも同じ匿名アドレスが割り当てられるので、そのまま管理して利用できます。

送る側も、受ける側も、双方が匿名でメールを送受信できる

全てのメールアドレスを匿名化することで、双方向で匿名による通信が可能になります。

メールアドレスを匿名化して送信する方法は多数ありますが、SafetyAnswerは、不可能であった匿名化されて届いたメールを送り主へ正確に返信する手段を提供します。

SafetyAnswerが提供する基本的な機能

1 メール受信者のアドレスを隠す

公開するメールアドレスから転送するメールの送信先を隠ぺいしてメールを返信できます。



2 メール送信者のアドレスを隠す

公開するメールアドレスへメールを送る送信者のアドレスを匿名化してメールが受信ができ、匿名の相手に返信もできます。



3 メール送信者への返信を規制する

転送先から送信者への返信ができないように設定できます。



SafetyAnswerと既存のアドレス匿名化ツールを比較

SafetyAnswerのメールアドレス非通知機能の利用は、受け取る側が個人情報を収集しないことを目的としています。

	SafetyAnswer	既存のアドレス匿名化ツール
利用目的	個人情報漏えい防止 メール送信者のアドレスを収集したくない場合にメールの受信者が利用	送信者アドレス詐称 自分のアドレスを送信先に知られたくない場合にメールの送信者が利用
利用方法	メールを受信する側がシステムを利用して、受信メールの送信者(相手の)アドレスを匿名化する	メールを送信する側がツールなどを入手して、送信メールの送信者(自分の)アドレスを詐称する
送信者への返信	送信者へ正確に返信(送信)できる	送信者へは返信できない、戻せない
産業的な利用価値 活用場面	企業や組織での個人情報漏えい対策 匿名相談(学校、労務、健康相談など) メール処理の外部委託ツール 学校連絡網、PTA連絡網 モバイル端末やBYOD活用他	?